

安全確保の方策等に関する検討状況について

- ① 災害事故等発生時の対応策の検討について
- ② 長崎県警察との安全対策の検討について
- ③ 長崎大学BSL-4施設における特定一種病原体等を用いた研究計画の検討状況（概要と期待される成果）

① 災害事故等発生時の対応策の検討について

災害事故等発生時の対応計画案の検討状況

令和6年4月25日 長崎市 防災危機管理室・消防局等との打合せ（高度感染症研究センター一実験棟）

本学BSL-4施設に関し、今後、長崎市の地域防災計画へ掲載されることに伴い、長崎市の防災危機管理室や消防局等（計8名）とともに現地確認を行いながら、火災等の緊急事態が生じた場合の具体的な対応策について協議を行った。

緊急事態発生時の措置の基本的な考え方を説明し、火災発生時の設備やシステム、防災・保安センターの機能や緊急警報装置等を確認した。



説明時の様子



防災・保安センターの機能等の確認

令和6年5月29日 長崎市北消防署との打合せ（長崎市北消防署）

本学BSL-4施設において災害事故等が生じた場合の対応策について、長崎市北消防署と打ち合わせを実施し、現行の坂本キャンパスの消防計画や防火・防災体制の見直し、災害事故が生じた場合の対応策の協議を行った。

令和6年10月10日 長崎市 防災危機管理室・感染症対策室との打合せ(長崎市庁舎)

本学BSL-4施設が特定一種病原体等所持施設として厚生労働大臣に指定された場合には、長崎市地域防災計画の中に「特定一種病原体等所持施設に係る事故・災害等対策計画」が掲載されることになる。

このことを踏まえ、本学実験棟の安全管理規則、基準を補完する災害等対応計画の策定に向けて、長崎市防災危機管理室・感染症対策室と打合せを行った。



打ち合わせの様子(長崎市庁舎)

令和7年1月17日 長崎市 防災危機管理室・感染症対策室との打合せ(長崎市庁舎)

対応計画案について運用に即した内容にするための助言を得ながら、本年度中の訓練実施に向け内容や実施時期の検討を行った。



長崎市との打合せ (長崎市庁舎)

本学は、長崎市及び市消防局の協力の下、火災や地震、その他の災害発生時における実験棟での必要な措置・対応を定める対応計画を策定し、既に定められている坂本キャンパスの消防計画とともに、実験棟において具体的かつ迅速な対応が可能となるよう準備を進めている。

この対応計画の内容は、今年度施行された施設の「安全管理規則」を補完し、また、長崎市の「地域防災計画」にも記載された本学が講じる措置を含むものである。

対応計画の概要は別添の目次に記載しており、具体的な予防体制図や連絡体制図なども含めて構成されている。

高度感染症研究センター実験棟における
災害事故等発生時の対応計画

令和7年1月17日版

長崎大学 高度感染症研究センター

目 次

はじめに

第1節 災害事故等発生時における組織体制

1. 坂本1団地における防災管理体制

第2節 災害事故等の種別ごとの初動対応

1. 火災が発生した場合
2. 地震が発生した場合
3. その他の災害事故、不測の事態が発生した場合

第3節 災害事故等発生時における参集・連絡体制

1. 職員の参集
2. 情報収集体制
3. 地域及び学内関係者への連絡

第4節 緊急対策本部

1. 緊急対策本部の体制
2. 危機対策本部との連携

別表1 高度感染症研究センター実験棟及び坂本1団地における予防体制

別表2 緊急連絡先一覧

別表3 緊急事態における避難経路

別表4 緊急事態が生じた場合の参集職員等一覧

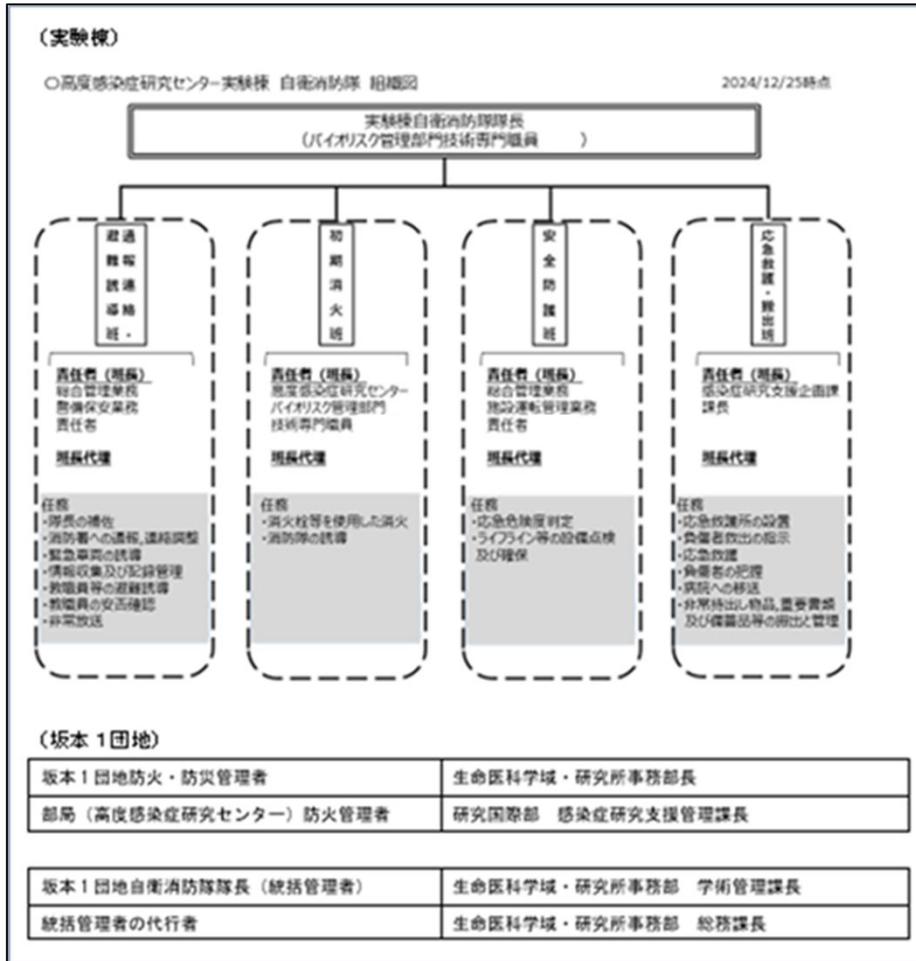
別表5 坂本キャンパス周辺への連絡方法一覧

別記様式1号 災害事故等発生時の連絡票

- ・ 本対応計画は、規則・基準*を踏まえた内容
- ・ 策定後は、本対応計画を基に市等の協力を得て、訓練を実施していく予定

* 長崎大学高度感染症研究センター実験棟生物災害等防止安全管理規則・長崎大学高度感染症研究センター実験棟生物災害等防止安全管理基準

別表1 高度感染症研究センター実験棟及び坂本1団地における予防体制



緊急対応時訓練等の実施状況

令和6年10月22日 火災発生時の初動対応等確認(高度感染症研究センター実験棟)

実験棟内での火災を想定した実験棟における対応計画の策定に向け、森内センター長以下、現場で実際に対応に関わるバイオリスク管理部門の施設管理担当者や委託業者の警備及び設備担当者とともに、消火・通報など火災発生時の初動対応等について確認した。

具体的には、防火扉、避難経路、消火栓、消火器および防災・保安センターにおける火災警報装置等を確認した。



防災・保安センターにおける
火災警報装置の確認



警備隊長による消火器の確認

令和7年1月14日 AED講習会(長崎大学病院)

長崎大学病院内実習室において、病院看護部及び保健センターの指導の下、AED講習会を実施し、センター教職員及び委託管理会社職員12名が参加した。

講習会では、AED(実験棟のものと同型)の基本的な使い方に加え、心肺蘇生法(心臓マッサージ)についても学び、さらに3班に分かれて全員が実践的な模擬訓練を行った。



AED訓練の様子



心肺蘇生法(心臓マッサージ)の実施

② 長崎県警察との安全対策の検討について

特定病原体等の盗取等の事故への対応策の検討状況

実験棟における特定病原体等の盗取等の事故に係る対応マニュアルについて、令和6年10月25日及び12月9日に長崎県警察(以下、警察)の担当者と打ち合わせを行った。

この打合せにおいて、事故発生時の対応などについて具体的な助言をいただいた。

また、令和7年1月15日には、当該マニュアル策定とともに本年度中に実施予定の対応訓練について警察の担当者と打ち合わせを行った。



長崎県警察との打合せの様子(12/9 高度感染症研究センター)

実験棟における 特定病原体等の盗取等の事故に係る 対応マニュアルの概要

実験棟における特定病原体等の盗取等の事故に係る対応マニュアルについては、法令等に規定する特定病原体等(特定一種病原体等、二種病原体等、三種病原体等及び四種病原体等)についての盗取、所在不明等(以下「事故等」という。)が生じた場合の緊急連絡体制、応急措置、その他必要な措置について規定するもの。

万が一、事故が発生した場合には、本学、警察及び行政庁が連携して解決に当たる。

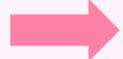
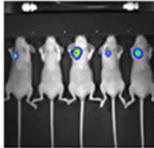
③ 長崎大学BSL-4施設における特定一種病原体等を用いた研究計画の検討状況（概要と期待される成果）

- ・ ALL JAPAN体制下で、世界的にも研究開発が遅れているBSL-4病原体による感染症に対する研究開発の飛躍的な進展
- ・ わが国のイニシアティブで世界の感染症対策をリードし、感染症の制圧に貢献

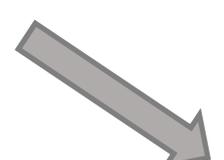
基礎研究

1. ウイルス増殖・病態発現機構の解明

- ・ 宿主-ウイルス相互作用に着目した分子・細胞・個体レベルでの感染機構の解明
- ・ 先端機器を活用した独自性の高い研究
- ・ 多様な研究分野との独創的な研究の推進
- ・ 非ヒト霊長類を用いた感染病態解析など基礎データ取得



- ・ ウイルス感染機構の解明
- ・ 予防・治療法開発への貢献



応用研究

2. 検査・診断法の開発

- ・ ウイルス遺伝子検出法
- ・ 中和抗体検出法
- ・ 感染バイオマーカー検出法をベースとした超早期診断法の開発



- ・ 診断体制の整備・確立
- ・ 流行の早期制御への貢献

3. 治療法の開発

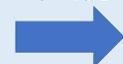
- ・ ウイルス増殖・病態発現に関わる因子を標的とした化合物や抗体医薬品の候補探索
- ・ 動物モデルを用いた前臨床研究



- ・ 多様なモダリティに基づく新規治療薬開発

4. 予防法の開発

- ・ SCARDAワクチン拠点プロジェクトと連携した、新規mRNAワクチン・VLPsワクチンの開発
- ・ 動物モデル(非ヒト霊長類を含む)を用いた前臨床研究



- ・ 日本発の革新的ワクチン開発
- ・ 流行時の迅速なワクチン提供